

JIMBO**感熱センサスイッチ**天井用
換気扇運動形

HST-5

取扱説明書

- このたびは JIMBO の感熱センサスイッチをお買い上げいただきありがとうございます。
 ・感熱センサスイッチを正しくご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
 お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

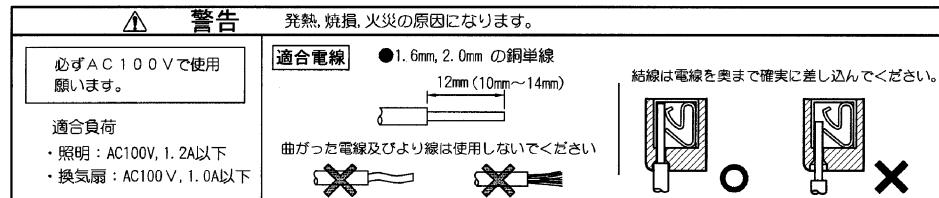
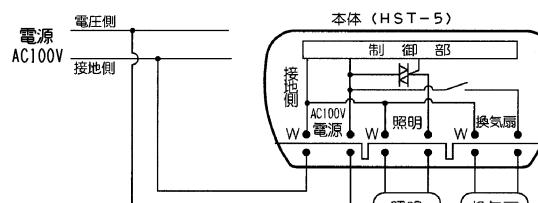
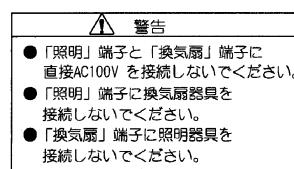
配線方法と適合負荷

※本製品はトイレ(屋内)用の感熱センサスイッチとしてご使用ください。

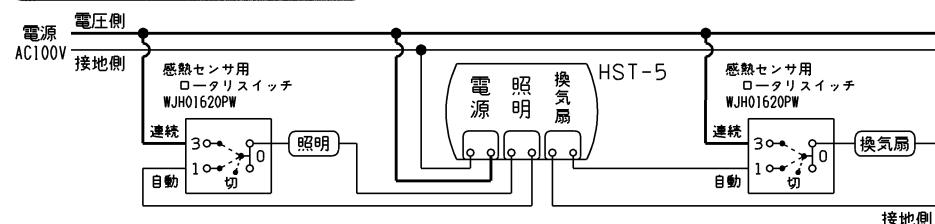
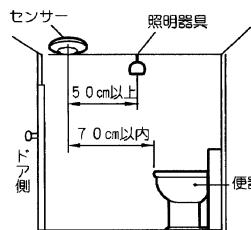
取り付け場所に関するご注意

- ・感熱センサスイッチは人体と周囲の温度差(約3°C)を検知して動作します。
 急激な温度変化のある場所や、次の様な場所では使用しないでください。

- ・検知面に直接強い光や、日光が当たる場所。
- ・ストーブなどの暖房器具の直上、エアコンの送風口の近くやこれらの風が直接あたる場所。
- ・検知エリア内に急激な温度変化を起こすモノがある場合。
- ・検知エリア内にゆれるモノや動くモノなどがある場合。
- ・照明との距離が50cm以内の場所や、検知エリア内に感熱センサスイッチを照らす照明のある場所。
- ・無線アンテナ近く等の強力な電波が発生する場所。
- ・検知エリア内に家具や壁などのしゃへい物がある所。その影の部分では検知できません。

**接線図****切替スイッチと組み合わせる場合**

切替スイッチ併用する場合は本体側の手動スイッチを『自動』にしてください。

**取付位置について**

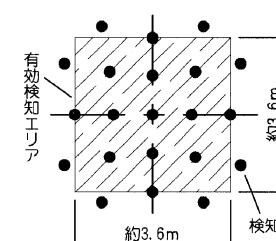
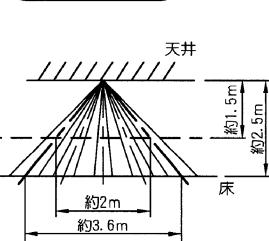
- おすすめする取付位置は左図となります。
- 検知エリア内に家具や壁などのしゃへい物がある場合、その影の部分では検知できません。
- 軒下・屋外では使用できません。

検知エリアについて

- 検知エリアは下図のように検知ゾーンが分割された構造になっています。
 ゾーン間(検知エリア内死角)では検知しない場合があります。

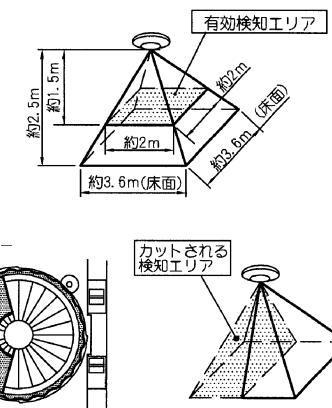
上から見た図

(天井高さ 2.5m 時の床面検知ゾーン)

**横から見た図**

- 下の図は周囲温度が5°C~35°Cで被検知対象と周囲温度の差が3°C以上の場合の検知エリアです。

- 検知エリア調整前に、手動スイッチは「自動」、照度センサースイッチは「切」、動作時間調整は「約10秒」に設定してください。



- 検知させたくない範囲がある場合は付属のしゃ光バーをレンズに取り付けてください。

しゃ光バーにより検知範囲は約半分になります。
 微調整はしゃ光バーをまわしながら調整してください。

- 検知エリアの確認は実際に人が動きながらおこなってください。

接続できる負荷と容量照明及び
換気扇専用

| | |
|------------|--------|
| 白熱灯 | 120Wまで |
| 蛍光灯 (低力率型) | 60Wまで |
| 〃 (高力率型) | 96Wまで |
| 〃 (インバータ型) | 80Wまで |
| 〃 (電球形) | 2灯まで |
| 換気扇 | 100Wまで |

ご使用になれない負荷

- ・感熱センサ、温度センサ等の制御回路を内蔵しているもの。
- ・HIDなどの放電灯照明器具
- ・暖房、乾燥機能付の換気扇は、換気扇メーカーに適合性をご確認ください。

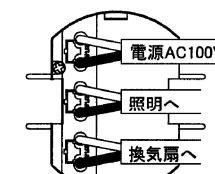
※白熱灯は1灯あたり100W以下でご使用ください。

※電球形蛍光灯は1灯あたり白熱灯の100W相当以下でご使用ください。

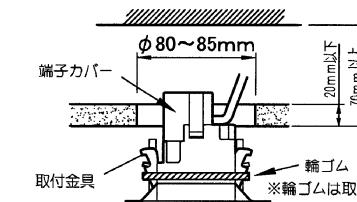
取り付けかた**ボックスレス工事の場合**

天井板厚20mm以下、天井とところが70mm以上の場所に取付けることができます。

- ①適合電線をストリップゲージにあわせて被覆をむき、端子に接続し端子カバーを取り付けます。



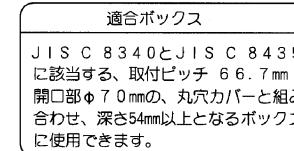
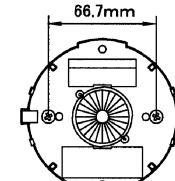
- ②天井にφ80~85mmのマル穴を設け、本製品の取り付けネジを締込み、天井面に取付けます。
 ※マル穴はφ90を超えないようにしてください。



- ③最後にカバーを取り付けます。

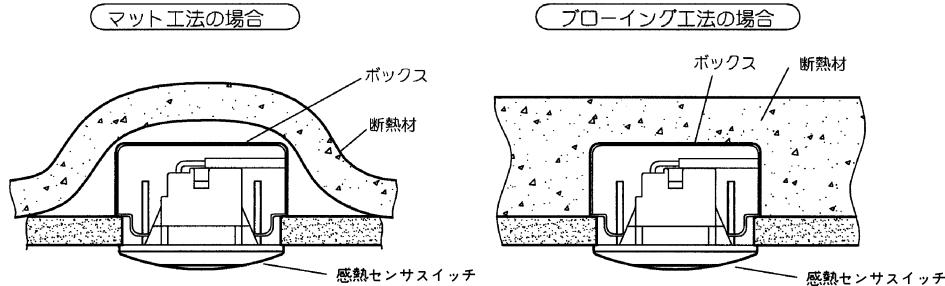
**ボックス取付の場合**

本製品から取付金具を取り外し、66.7mmピッチのガイド穴にねじを通して、天井に取付けてください。

**警告**

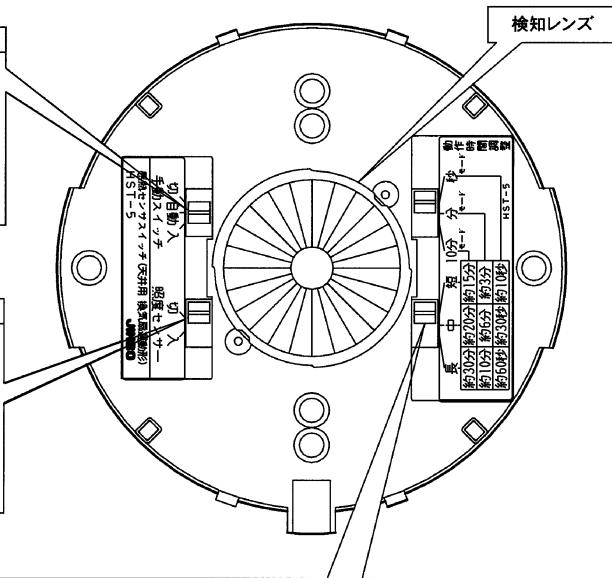
- ・メガ測定は本製品をはずして実施してください。
- ・フレーカーのトリップテストなどで、負荷側を短絡しないでください。故障の原因となります。

天井裏に断熱材がある場合 ※必ず市販のボックスを使用して取り付けてください。



手動スイッチ、照度センサースイッチ、動作時間調整スイッチの使い方

| 手動スイッチ | |
|--|---------------|
| 各設定により動作は以下になります。 ※出荷時は「自動」に設定しております。 | |
| スイッチ位置 | 感熱センサスイッチの動作 |
| 切 | 負荷は常時OFFです。 |
| 自動 | センサーにより動作します。 |
| 入 | 負荷は常時ONです。 |



動作時間調整スイッチ（照明用）

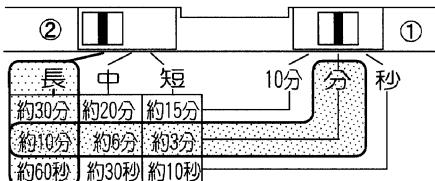
スイッチの動作時間は約10秒から約30分まで9段階に調整できます。 調整は下記の要領でおこなってください。
※出荷時は「約10秒」に設定しております。（この場合、運動動作時間は「約10秒」となります。）

照明動作時間の調整方法

調整したい動作時間が縦の列と横の列にくる様に、ツマミを合わせてください。

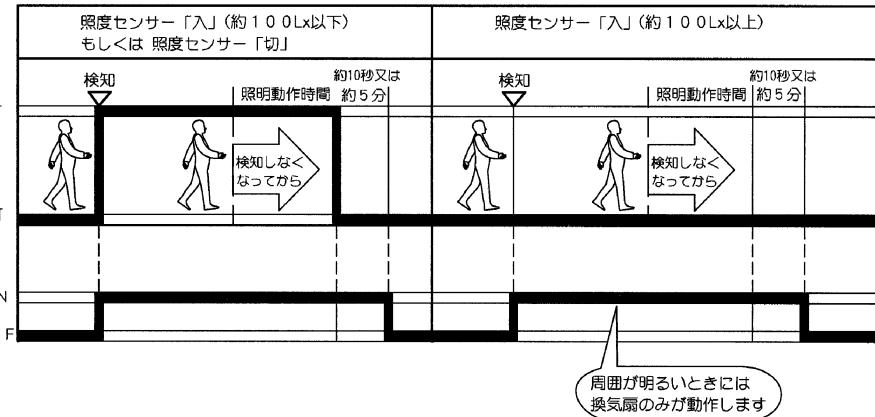
「約10分」に合わせる場合

- ①右側のツマミを「分」の位置に合わせる。
- ②左側のツマミを「長」の位置に合わせる。



- ・「約3分」もしくは「約6分」に設定する事をおすすめいたします。
- ・照明に蛍光灯を使用している場合で照明の点灯／消灯の頻度が多くなる場所に設置している時は「約20分」や「約30分」などの長めの時間に設定することをおすすめします。
※設定時間が短いと点灯／消灯が頻繁に繰り返され蛍光灯の寿命が短くなります。

動作について



ご使用上の注意

- この器具はトイレ（室内）用の感熱センサスイッチとしてご使用いただけます。
- 軒下および室外では使用できません。
- 防水構造ではありませんので、直接雨や水のかかる場所でのご使用はできません。また浴室内での使用はできません。
- 感熱センサスイッチは検知エリア内の温度変化（約3°C以上）に反応し動作します。
真夏や真冬など温度変化が生じにくい場合は検知が鈍ることがあります。異常ではありません。
- 便座ヒーターや暖房装置により動作する場所があります。
- 気密性の高い建物の場合は、ドア開閉で生じる気流等に反応する場合があります。
誤動作防止の為、通風口や窓の近くなどの気流の通り易い場所にスイッチを取り付けることはさけてください。
- 電源を投入してから約40秒間は、初期動作のため「照明」側が通電状態となります。また停電後の再起動時等も同様です。
- 検知部が汚れた際は乾いた布か、水でぬらしよく絞った布で表面を清掃してください。
検知部の劣化の原因となる為、薬品や洗剤などの清掃はおやめください。
- 検知距離は約3mです。検知距離が3mを越える場所での施工はおやめください。
- 適合負荷を定格容量内の範囲でご使用ください。適合外や定格外での使用はスイッチの異常動作や故障の原因になります。
- 感熱センサスイッチの交換時期は約8年～約10年が目安です。ご使用環境やご使用状況により寿命が短くなる場合があります。
性能維持・確認のため定期的な点検をお薦めいたします。点検・交換の際はお近くの電気工事店へご相談ください。
- 検知エリア内に人がいる場合でも、静止状態が続くと設定時間後に、照明／換気扇は消灯（OFF）します。
その際は手などを動かして再度検知動作させてください。

仕様

| 形名 | HST-5 |
|-----------------|---|
| 検知方式 | 赤外線レベル変化感知式 |
| 定格電圧 | A C 100 V (50/60 Hz) |
| 定格電流および適合負荷 | 照明：1.2A 換気扇：1.0A |
| 消費電力 | 約 2 W |
| 検知距離 | 感熱センサスイッチから約3m (周囲温度5°C～35°C) |
| 照明動作時間（「照明」端子） | 約10秒、30秒、60秒、3分、6分、10分、15分、20分、30分の切替式 |
| 運動動作時間（「換気扇」端子） | 照明動作時間「約10秒」の時：照明動作時間+約10秒 照明動作時間「約10秒」以外の時：照明動作時間+約5分 |
| 動作照度切り替え | 切、入（約100Lx以下）の2段切替式 |
| 付属品 | 取扱説明書…1枚 検知範囲制限用シール…1個 端子カバー…1個 |